

事業名	林道保全整備事業
-----	----------

総事業費	5,000 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	林業の振興
	基本事業名	森林環境整備

② 実施 (Do)

事業の意図	施設の適時・適正な保全対策を実施し、より一層の施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を図る。	
事業の実績 と成果	取組内容	未舗装林道を年次的に舗装していく。
	成 果	未舗装林道を舗装することで、維持管理費のコスト削減が図られ、安全な車両の通行が確保される。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	予算確保が限られているため、事業進捗の遅延が懸念される。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	林道については、未だ未舗装区間が多く、車両通行に支障をきたしていることから、年次的に舗装工事を実施している。 令和5年度においては、前年度に引き続き鹿之峯地区の舗装工事を行い車両通行性の安全を確保した。今後も計画的な事業実施に努めたい。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	舗装を行い、維持管理のコスト削減と車両の安全通行を確保する。
-----------	--------------------------------

事業名	市有林整備事業
-----	---------

総事業費	0 千円
------	------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	林業の振興
	基本事業名	森林環境整備

② 実施 (Do)

事業の意図		市有林の健全な育成を図る。
事業の実績 と成果	取組内容	間伐予定地の地形・収量比数等の現地調査により設計し、管内林業事業体に施業を委託した。また、次年度実施予定箇の測量を実施した。
	成 果	市有林の健全な育成が計画的に図れた。 また、次年度の施業委託がスムーズにできるよう準備ができた。

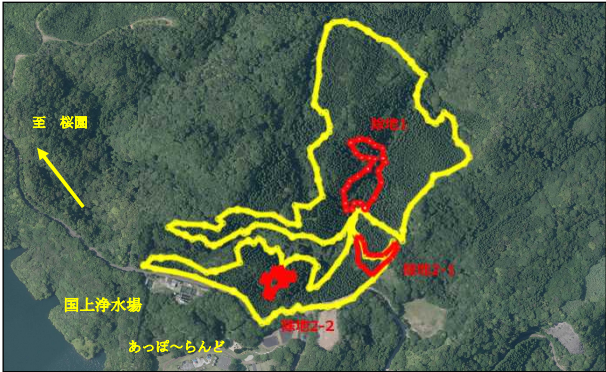
③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	令和8年度末までに本市の森林経営計画区域内で26haの施業が必要なため、計画的に施業を進めて行く必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	市有林の健全な育成を図るため、計画的に間伐を行っている。令和5年度も予定された面積の間伐を実施した。市有林の大部分が主伐期を迎えているため、主伐の検討や主伐後の再造林等課題である。また、森林経営管理制度での民有林の施業も進んでいくため、市有林も含め効率的に進めて行くために施業地の選定にも注意する必要がある。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	間伐予定箇所の測量は、完了しているため、速やかに業務の委託を実施する。
-----------	-------------------------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	市有林整備事業 国上団地R5地区（西之表市国上字高橋地内） 業務内容 搬出間伐、 施業面積5.76 h a

事業名	いこいの森管理事業
-----	-----------

総事業費	429 千円
------	--------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	林業の振興
	基本事業名	森林環境整備

② 実施 (Do)

事業の意図		森林（治山施設含む）としての機能が発揮できるようにする。
事業の実績 と成果	取組内容	施設の維持管理作業の委託等。
	成 果	森林（治山施設含む。）としての機能が維持された。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 （事業担当者記入）	現在使用を禁止している老朽化施設（コンクリート造トイレ）の取扱い
評価結果の根拠 及び今後の課題 （担当課長記入）	いこいの森については、現状を踏まえ、水源涵養機能、木材生産機能、保健機能を発揮するための森林整備を目的とした管理として見直しを行い、目的に必要な施設の維持管理、不要な施設の整理縮小を段階的に実施することとしている。 この方針に基づき、令和5年度においても、草払い等施設の維持管理に努めたところである。老朽化施設（コンクリート造トイレ）については、現在使用を禁止しており、今後の取扱いが課題である。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	施設の適正管理を行う。 老朽化施設（コンクリート造トイレ）の取扱いの方向性を検討する。
-----------	--

事業名	民有林整備事業
-----	---------

総事業費	1,980 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	林業の振興
	基本事業名	森林環境整備

② 実施 (Do)

事業の意図		手入れを行っていない民有林の解消を図る。
事業の実績 と成果	取組内容	令和3・4年に実施した意向調査で林業事業者に経営管理を委託したいと希望のあった森林について、林業経営に適した森林であるかの現況調査を業務委託した。
	成 果	業務委託した森林5.21haのうち約45%にあたる2.34haの森林について、種子島森林組合に経営管理についてあっ旋を行った。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	令和5年度から意向調査対象林班数を増やしたため、令和6年度以降、現況調査面積等も増加する予定である。結果、あっ旋する面積も増加していくことが予想されるが、あっ旋先の種子島森林組合が人員不足により、作業面積を増やしていくことが困難な状況にある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	手入れ不足の森林について、所有者に対し意向調査を行うことにより、所有する森林の経営方法について、検討する機会を与えることができた。また、経営管理を委託したいと回答のあった森林については、現況調査を踏まえて林業事業者にあっ旋していく。 今後も、意向調査や現況調査を踏まえ、森林の経営管理について事業者にあっ旋を行っていくが、事業を受ける事業者が人員不足を理由に事業実施困難となる可能性もある。このため、人材確保対策も含め、事業実施に繋がるための支援について、推移をしながら検討していきたい。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	昨年度同様の事業を実施するほか、補助金を交付することにより手入れ不足の森林解消を図る。
-----------	---